

民児協だより



— 支えあう 住みよい社会 地域から —



ピアノが得意な民生委員とチェロの名手のご主人の演奏で「めだかの学校」を一緒に。

まなざし

鎌倉市民生委員児童委員協議会では、広報部会・提案部会・福祉部会の3つの研究部会が活動を行っています。3部会は市内10地区よりそれぞれ選出された10名の委員で構成され、部会ごとに活動テーマを設定し、3年間の任期の中で、広報活動、定例会や研修、交流会などを行っています。

福祉部会では、民生委員児童委員活動に役立つ事は何かを考え、「障害者福祉」、「児童福祉」、「高

齢者福祉」についての学びをそれぞれ3冊子にまとめ、全民生委員児童委員に配布しました。

「高齢者福祉」については、実践活動もプラスして、高齢者施設を数ヶ所訪問し、歌に合わせた手作りの小道具を披露しながら、チェロとピアノの伴奏で楽しいふれあい交流を行いました。

(鎌倉市民生委員児童委員協議会)

- ◆特集① 県民児協新役員体制のご紹介 ◆特集② 県・県社協からの激励メッセージ
- ◆特集③ 令和元年度(平成31年度)受章(賞)者紹介
 - 活動研究レポート(中学生とのつながりと地域づくりを考える)
 - 新広報委員のご紹介

令和元年12月の臨時総会の承認を経て、今期3年間、本役員体制で県民児協運営を推進していきます。

それぞれがこれまでの民生委員・児童委員活動で抱えてきたモットーを大切に、県内約4,600人の民生委員・児童委員、主任児童委員一人ひとりが、楽しく、やりがいと誇りを持って活動できるよう、共に力を合わせていきましょう。



副会長 佐野美智子(横須賀市)

「令和」には、人々が心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められているといいます。この時代を共に生きる委員として、地域の仲間、地区・県市町村民児協の仲間を大切に育てます。

今までを振り返り、気づき、今後力を入れる活動を「仲間」でつなぎます。

副会長 三觜壽則(藤沢市)

県民児協の役員参加は初めてとなり、すでに三ヶ月が経ちました。そんな中で、市民児協では得られない、市町村会長との出会いは非常に新鮮です。諸先輩方々との話し合いは重要な事と思います。皆さまの意見、要望などお聞きしてより良い県民児協運営が出来ればと思います。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。



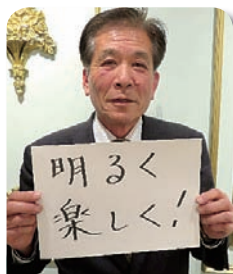
● 理事 ●



高津恵一(狛江市)



笹谷月慧(三浦市)



三橋三郎(厚木市)



村上法芳(大和市)



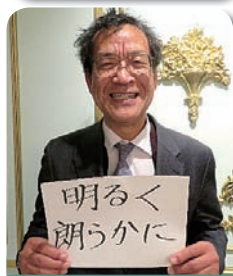
二ノ宮要子(綾瀬市)



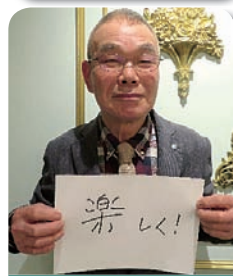
森井順子(寒川町)



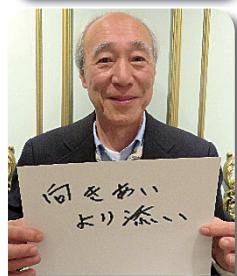
鈴木孝善(大磯町)



井上太郎(二宮町)



真間益雄(中井町)



瀬戸一男(山北町)



小野清士(開成町)



村上ちす子(箱根町)



横山公(真鶴町)

県民児協キャラクター みんぴょん



3年間よろしく
お願いいたします

特集1

神奈川県民児協 新役員体制のご紹介

～今期3年間大切にしたいモットーとともに～



会長 桐生行雄(海老名市)

民生委員制度は百年を有する歴史ある制度です。これからも時代に即した持続可能な制度や活動を考えていきたいと思ひます。

「和顔愛語」の精神で「凡事を徹底」し誰もが笑顔で安全・安心に暮らせる地域をめざして、皆さま方と共に活動を進めてまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。

副会長 熊澤道子(秦野市)

新たな体制で、微力ながら、引き続き副会長の重責を努めさせていただきます。

より一層新たな気持ちで、全民児連の活動スローガンであります「支えあう 住みよい社会 地域から」のもと、常に住民に寄り添い、身近な相談相手となり、つなぎ役となって、地域福祉の推進に努めてまいりたいと思ひます。



● 常任理事 ●

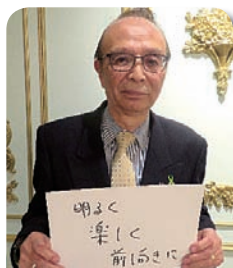
● 理事 ●



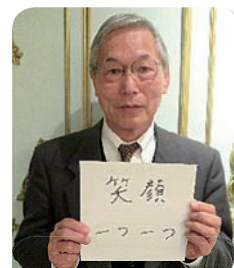
星野茂(鎌倉市)



木下操(茅ヶ崎市)



小原公一(平塚市)



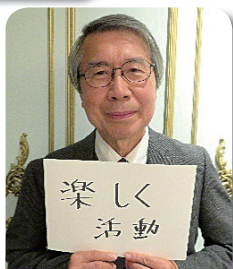
岡田健(小田原市)



若松操(伊勢原市)



阿部正信(座間市)



井出晴明(南足柄市)



岩澤孝(清川村)



矢村宗克(葉山町)



石井康弘(愛川町)



梅原紘明(湯河原町)



寺下かつ子(大井町)



小野治三郎(松田町)

特集 2

民生委員・児童委員の皆様へ 神奈川県・神奈川県社協からの激励メッセージ

神奈川県福祉子どもみらい局
福祉部地域福祉課

課長 長島 圭太 様

民生委員・児童委員の皆様には、日頃より本県の福祉施策にご協力を賜り、心から御礼申し上げます。本県では、誰もがその人らしく暮らすことのできる「ともに生きる社会かながわ」を実現するために種々の施策を推進しています。地域住民に一番身近な存在として活動する皆様が行う、高齢者や支援を必要とする方々への見守りや相談などの委員活動は、地域福祉を推進する県・市町村行政や社会福祉協議会にとっても大変に有意義で重要な活動です。

本県としても、皆様の活動を支援するため、県のたより等での広報活動や民生委員児童委員協議会への補助などを行っています。

これからも、市町村や社会福祉協議会との連携を密にして委員の皆様への一層の支援に取り組みますので、皆様におかれては、ぜひ、「ともに生きる社会かながわ」を実現できるよう、県政へのご理解とご協力をお願いいたします。

神奈川県福祉子どもみらい局
子どもみらい部子ども家庭課

課長 中野 美智子 様

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の身近な支援者として御尽力を賜り、心から御礼申し上げます。

児童虐待の相談対応件数は、年々増加しています。そのような中、令和2年4月1日には、「しつけにおける体罰の禁止」が明文化された法律が施行されます。

県では、この機会を捉え、体罰によらない子育ての普及啓発を行うことが重要と考えております。こうした場面においても、子どもと保護者を地域で見守り、支援し、行政との架け橋として活動していただいている、民生委員・児童委員の皆様の日々の地道な活動は、かけがえのないものです。

今後とも、子どもたちが安心して健やかに地域で成長していけるよう、私も行政との連携、お力添えを賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



社会福祉法人
神奈川県社会福祉協議会

会長 篠原 正治 様

民生委員・児童委員の皆様には、日ごろから地域福祉の推進にご尽力いただき深く感謝申し上げます。また、本会事業の推進にも格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会構造が変化し、様々なつながりが希薄化している今日の社会において、地域に暮らす人々の生の声を聞き、生活の困りごとや地域の問題を把握し、必要な支援につなぐ民生委員・児童委員の活動は非常に意義あるものであり、皆様の各地域でのご活躍を願ってやみません。同時に、本会としても引き続き、民生委員・児童委員の活動しやすい環境づくりをはかるべく取り組んでまいります。

本会は地域住民と多様な主体の協働による「誰もが安心して生活できる地域づくりの推進」を目標に、地域福祉推進に向けた各種の取組を実施しております。民生委員・児童委員の皆様には今後とも本会事業へのご理解とご参加を賜りますようお願い申し上げます。

特集3

令和元年度(平成31年度)受章(賞)者紹介

◆春の褒章(5月21日付)

藍綬褒章

〔横須賀市〕川口光子
〔茅ヶ崎市〕小澤登代子

◆秋の褒章(11月3日付)

藍綬褒章

〔横須賀市〕志田良子
〔鎌倉市〕平本恭子
〔小田原市〕市川昭維子

◆厚生労働大臣表彰(11月22日付)

〔民生委員・児童委員功労者〕

〔横須賀市〕鵜澤昭代 吉田孝志
〔綾瀬市〕松本信之
〔秦野市〕丸山清江
〔藤沢市〕手島曉子
〔小田原市〕市川初江
〔共同募金運動奉仕団体〕
横須賀市長井地区民生委員児童委員協議会

◆厚生労働大臣特別表彰(1月21日付)

〔平塚市〕齋藤治一 大塚英子
〔鎌倉市〕白井智子 和田淑子
〔大木君江〕瀧川フク 内野邦代
〔後藤玲子〕安齋百合子 菅井克男
〔藤沢市〕高須喜代美 大木範子
〔吉岡宏子〕内田昌子 堤幸子
〔内野典子〕杉淵美有子 正田恵美子
〔池田恵美子〕石渡ミエ子 小倉満男
〔由井清子〕落合英只 大高忠義
〔小泉富子〕鷹崎律子 松倉明子
〔小田原市〕窪田さきみ 日下部透
〔山口正隆〕長谷川トキ子 長井和子
〔茅ヶ崎市〕新倉篤子
〔三浦市〕田原勝子 大井恵子
〔秦野市〕原逸夫 森坂紀子
〔厚木市〕川島陽子 平本俊弘
〔志村忠臣〕森住勝夫
〔大和市〕佐藤幸枝 鈴木俊英
〔船津ツネ子〕瀧本信子 柿沼信子
〔吉田カツ子〕宮本繁子 佐藤洋子
〔稲垣純子〕井上定男 藤沼重雄
〔海老名市〕水本晶子 杉原美津江
〔座間市〕城条洋子 吉原克枝山田敏子 河原田純子 一杉規予子
越智慶子 和田泰弘 末永八百子
西原博子 鈴木兼夫 齊藤敏勝
佐藤雅彦 草薙菊江
〔綾瀬市〕古塩幸子 木村照子
久津間勲 前野永年 橋口節子
越智洋之 廣田博美
〔葉山町〕上野英樹
〔大井町〕植松伸二
〔箱根町〕岡本光代
〔真鶴町〕土屋節子
〔湯河原町〕袴田百合子 高杉正枝

◆全国社会福祉協議会会長表彰(11月22日付)

〔横須賀市〕森美知子
〔平塚市〕岩崎悦子
〔鎌倉市〕杉山昌美
〔藤沢市〕吉岡宏子 加藤みはる
〔逗子市〕東海幸緒
〔大和市〕鈴木俊英
〔座間市〕吉原克枝

◆全国民生委員児童連合会会長表彰(10月17日付)

〔優良民生委員児童委員協議会表彰〕
横須賀市浦賀第一地区民児協
〔本年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰〕
南足柄市民児協
〔横須賀市〕今野幸子 佐野美智子
〔茅ヶ崎市〕篠原徳守
〔厚木市〕渡邊治代 丸山清江
〔秦野市〕熊澤道子 内海美穂子
〔綾瀬市〕松本信之
〔本年勤続単位民生委員児童委員協議会役員表彰〕
〔横須賀市〕白井幸江
〔藤沢市〕三浦絹子
〔民生委員・児童委員功労者表彰〕
〔秦野市〕丸山清江 森坂紀子
〔葉山町〕相澤寛子
〔湯河原町〕鎌田茂之
〔本年勤続単位民生委員・児童委員表彰〕
〔横須賀市〕長谷川和子 指宿喜代子
〔川嶋徳子〕渡邊則子 相原ふみ
〔平塚市〕岡部由美子
〔田中利夫〕堀口修一
〔藤沢市〕久保本洋一 三木瑛子
和泉圭亮〔茅ヶ崎市〕兼藤若江
〔逗子市〕山口悦子 鈴木昌代
大木悦子 市川由美子
〔秦野市〕和田房枝 北村均
〔厚木市〕諏佐ミキ子
〔大和市〕武川孝子 小倉幸子
〔成田志津子〕
〔海老名市〕亀澤ますみ
〔座間市〕宮崎正一
〔綾瀬市〕庄司幸枝 稲村絹枝
井上勝之 岩井勇夫 河又隆
峰尾捷子 伊藤寧彦 浜場里子
狐塚文子 八木修治 人見カツ子
鈴木正治 根岸亮子 池亀昇
〔寒川町〕青木澄雄 三尋木聡美
〔山北町〕高橋つや 柳澤昌子
〔箱根町〕高橋政江 柳澤昌子

◆県民功労者表彰(6月20日付)

〔社会福祉分野〕
〔横須賀市〕白井幸江
〔藤沢市〕末吉育子
〔小田原市〕窪田さきみ
〔茅ヶ崎市〕木村はな子
〔秦野市〕丸山清江
〔湯河原町〕鎌田茂之

◆神奈川県知事表彰(10月18日付)

〔民生委員児童委員功労者表彰(在職15年)〕
〔鎌倉市〕深見正美
〔茅ヶ崎市〕兼藤若江
〔厚木市〕筑後さとし
〔綾瀬市〕橋口節子
〔共同募金運動功労者表彰(個人)〕
〔藤沢市〕三浦絹子 大木範子
〔小田原市〕山口正隆
〔共同募金運動功労者表彰(団体)〕
鎌倉市民生委員児童委員協議会
湯河原町民生委員児童委員協議会石井康子 川村喜八郎 小嶋紀子
原田幸子 三堀眞知子
〔茅ヶ崎市〕新倉篤子
〔逗子市〕岩本靖枝 東海幸緒
〔秦野市〕丸山清江 森坂紀子
〔厚木市〕川島陽子 吉田カツ子
〔大和市〕鈴木俊英 吉田カツ子
力武美也子
〔座間市〕一杉規予子 伊藤優子
稲垣文野 河原田純子 種村めぐむ
橋本慎子 山田敏子
〔綾瀬市〕木村照子
〔葉山町〕相澤寛子
〔寒川町〕石塚美智子
〔箱根町〕勝保晶子 川口満子
芝京子 村上ちず子
〔湯河原町〕鎌田茂之

◆神奈川県社会福祉協議会会長表彰(10月18日付)

〔本年勤続功労者(勤続10年以上)〕
〔横須賀市〕川嶋徳子 長谷川和子
三和春枝 渡邊則子
〔平塚市〕高梨てるよ 田中利夫
一杉高由
〔鎌倉市〕清田敏子 千代美和子
〔藤沢市〕宮崎芳子
〔藤沢市〕高田慧子 高橋里美
〔小田原市〕本多孝
〔茅ヶ崎市〕谷藤保雄
〔逗子市〕市川由美子 大木悦子
〔厚木市〕木村美子 諏佐ミキ子
〔大和市〕岡田静江 齋藤啓子
高橋伸夫 田邊はるみ 成田志津子
本間和子 牧野康子
〔海老名市〕石垣幸子 梅田ひろ子
亀澤ますみ 小池一美
佐久間えい子 守屋佐千子
〔綾瀬市〕稲村絹枝
〔箱根町〕高橋政江 柳澤昌子
〔真鶴町〕岡村信子◆神奈川県共同募金会会長感謝(10月18日付)
〔神奈川県共同募金会会長感謝(個人)〕
〔鎌倉市〕瀧川フク
〔藤沢市〕末吉育子
〔小田原市〕松本公子
※敬称略 受賞名簿順 所属等は受章当時。

市町村民児協発
活動研究レポート
No.44

中学生とのつながりと地域づくりを考える

小田原市泉中学校の幼児交流会の取り組みから

小田原市泉中学校の3年生は、家庭科の授業で幼児の心や体の発達について学んでおり、最後の集大成として幼児教材を作ります。その作品で、地域の子ども達に遊んで楽しんでもらうという「幼児交流会」という取組みを、泉中学校と富水地区民児協、東富水地区民児協が、協働で開催しています。

協働でつくる中学生と子ども達との交流の場

11月27日、会場の泉中学校に、乳児から6歳までの子ども達24人とそのお母さんが集まりました。

2地区の主任児童委員・児童委員（以下、委員）は、校舎の入口で受付をし、幼児交流会が行われる被服室まで、参加者を案内します。「おはようございます」「足元、気を付けてね」と明るい声が校舎に響いていました。

「今日は来てくれてありがとうございます。楽しいです。楽しんでいてください」と生徒の一人が挨拶をして、1クラス40分程の交流会が始まります。

まずは、5つのグループに分かれて、手作り絵本の読み聞かせ。飛び出す絵本や、フェルトや毛糸を使い手の感触で楽しめる絵本など、生徒が考えたアイデア満載の



「お花の絵がフカフカしてるよ」と生徒が子どもに微笑みかけます。

絵本が数多く披露されました。初めは遠慮しがちで、関わり方に戸惑った様子の生徒も、程なくして賑やかな雰囲気になりました。

読み聞かせのあとは、各グループが考えたオリジナルの遊び道具で交流をします。

赤い車は大人気。子ども達が順番に乗っていましたが、待ちきれず泣き出す子もいるほど。人気アニメキャラクターのパズルは、交流会終了後に子どもたちにプレゼントするやいなや、あっという間に



子どもに人気のキャラクターを用いて喜んでもらうと制作した中学生の力作おもちゃの数々！

に、子ども達の手元に渡りました。委員の皆さんは、グループから少し離れたところにいるお母さんに声をかけたり、生徒に「このおもちゃ面白いね」「子ども達待ってるよ」と話しかけたり、先生と会話を交わすなど、終始暖かい眼差しを送っていました。

地域との交流が中学生の「地域力」を育む

「子どもは好きです。僕は、

この子達の先輩だから」と何気なく話してくれた男子生徒。生徒が、そのような気持ちで子ども達に接していることに感動しました。

また、ある女子生徒は「いつも同年代の子と遊ぶことが多いけど、色々な年代の人と関わるのも楽しいんだなって思いました」と気持ちを口にし、ある男子生徒は「この授業の準備をしてたら、地域の子ども達が気になるようになった」と地域への目の向け方に変化があったようでした。

「普段そっけない生徒でも、この交流会の後は、挨拶をしてくれたりするんです」と嬉しそうに語る委員の皆さん。

教頭先生が、「地域にとって、中学生の力は役に立つのではない。か。そのために、地域の方々と交流することで、地域力を身に付けることができる大事な機会です」と力強く語ってくれたように、生徒が地域の一員として認識され、また中学生も地域の一員である意識が芽生える場になっていました。

地域づくりの第一歩は互いを知り、理解を深めること

この幼児交流会は、東富水地区



主任児童委員とお母さんも楽しそう!

民児協の子育てサロン「育ちっこ」と泉中学校が8年前に始めました。6年程前からは、同じ中学校区の富水地区民児協の子育てサロン「ミッキーの会」と合同で開催するようになり、現在では、いずみ子育て支援センターも参加しています。

小田原市で2番目に校舎が古い泉中学校。長い歴史の中には、中学校と地域とのつながりがうすく、緊張感が張り詰め、どこか近寄りがたい時期もあったそうです。

今では、健やかで明るく熱心な生徒の姿を目の当たりにして、「昔のイメージとは全然違う」と感じる方が多いそうです。

あるお母さんは、「自分の子どもがこの生徒になる。一生懸命で優しい生徒が多くて良いですね」と目を細め、自身も泉中学校出身だというお母さんは、「昔とは違う。」

とても明るくなりました」と笑顔で教えてくれました。

委員や先生方も、この点が一番の意義だと言います。互いを知り、思いを垣間見て、理解を深めることが、地域づくりの第一歩なのかもしれません。



終盤は生徒と子ども達の距離が確実に近くなりました。思わず「あら、兄妹みたい!」と口にするお母さんも。

委員の役割の一つは、「つながること」。人と制度・サービスをただでなく、「人と人をつなぐこと」「思いを活動につなげていくこと」、そして「次世代を担う子ども達と地域のつながりを、共につくっていくこと」の大切さを感じました。

(広報委員 大沢みき、邊見千恵)
※役職は取材当時のものです。

活動のヒント・ポイント

赤ちゃんの力 ～ベビースキーマ～

ノーベル賞受賞者の動物行動学者コンラット・ローレンツは赤ちゃんに見られる身体特徴(広い額、幅の広い顔、平坦な顔、大きな目、小さな鼻、小さな顎、小さな歯、短い手足など)を「ベビースキーマ」と呼び、人がそのような刺激を受け取ると「かわいい」「愛おしい」「守りたい」守ろうとする行動が自然に生じるとしています。こうした赤ちゃんの力を活用して、中学生の社会性、利他性などを伸ばす取り組みです。この取り組みは、国の取り組みで言うと「乳幼児触れあい体験」となります。市町村や、教育委員会が取り組むことを推奨されています。特に学校については、中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領に位置づけられている取り組みです。

大正大学 教授
西郷 泰之さん

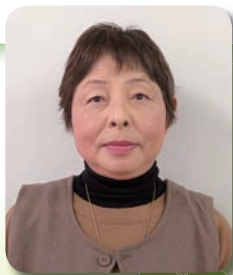


乳幼児の可愛さと存在感、つまり赤ちゃんの力が、「地域の子どもたちが気になるようになった」り、「普段そっけない生徒でもこの交流会の後には、挨拶をしてくれたり」など、中学生を変えてしまっています。そして、こうした中学生の力が、「一生懸命で優しい生徒が多くていいですね」と乳幼児の親たちの気持ちを動かしています。そして、地域で再び出会ったときは、きっと中学生たちは乳幼児に声をかけ、親たちとあいさつし、児童委員とも挨拶をするなど地域コミュニティづくり、つまり地域の力アップにも貢献しているはずです。今後は高校生世代にも発展していくと良いですね。

西村恵美子(南足柄市)

ニュースを見るたび思うのは『ありふれた日常を過ごせたら幸せ』ってこと。

今、困難な中にいる子ども達が、平穏な日常を過ごすことができるよう、私はペンを持って応援します。

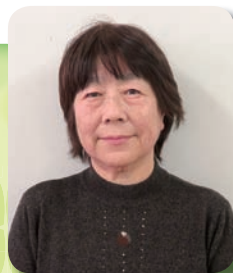
**根本智(横須賀市)**

この度選出されました7名の県民児協広報委員及び事務局の方々と「布衣之交」を以って過去の事例に囚われない明朗で闊達な紙面作りを心掛けて参りたいと思っております。皆様には何卒宜しくお願いいたします。

**高田陽子(茅ヶ崎市)**

これまで、サーッと見てきた“民児協だより”。

これからは、“老眼”に鞭打ってはしからはしまでじっくり読み込み、皆さんと仲良く、楽しく頑張っていきたいと思ひます。

**佐野千代子(大磯町)**

「広報委員」初めての経験です。

メンバーの方々と協力しながら、「一つのものを上げる」貴重な体験が出来ることを楽しみにしています。そのワクワク感を発信できたらと思っています。



今期3年間の「県民児協だより」を私たちが担当します

令和2年2月18日に新体制で広報委員会が開催され、委員の互選により、委員長は根本智さん、副委員長は高田陽子さんが選出されました。各市町村民児協から選出された通信員と共に、これからの3年間、民生委員・児童委員、主任児童委員の目線で、会員一人ひとりに身近で、分かりやすく楽しく役に立つ紙面づくりに、力を合わせて取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**八木下修治(愛川町)**

三年間、広報委員を務めさせていただきますが、民生児童委員、主任児童委員の活動内容を分かり易く皆様が「好読」出来るような広報紙づくりに努力してまいります。

**倉橋郁子(海老名市)**

ご提案や情報の共有など紙面を通して「民生委員・児童委員、主任児童委員っていいね」と感じていただける『県民児協だより』をお届けできればと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

**若林宏光(箱根町)**

九十一才の母は、私の人生の「学び」であります。長い経験は宝物です。民生・児童委員の広報活動を通して、幼児から高齢者までの情報を広く伝えられるよう、がんばってまいります。